

感染症管理センター

1. 概要

2017年度は病院機能評価受審や、厚生局による歯科共同指導、豊橋市保健所の医療監視等様々な外部評価を受けた。医療関連感染対策は、年度初めから新たに取り組み始めた抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の活動等が一定の評価を得た。加えてICT巡回ラウンドの実施や地域病院との連携、各種デバイスサーベイランスの実施等も評価を受けた。課題は手術部位感染（SSI）サーベイランスの実施である。がん診療拠点病院として多くの手術を行う当院は、SSIの発生率の改善に取り組まなければならない。よって、2018年度はSSIサーベイランスの実施が目標となった。

冬季に入り新年を迎えたところで爆発的なインフルエンザの流行とノロウイルスが原因と思われる感染性胃腸炎の院内アウトブレイクを経験した。それぞれの感染症に対し具体的な強化策を打ち出し、終息を確認した。年度末に開催した院内感染対策講習会で参加者と事例を共有し、医療関連感染対策の理解と強化を呼びかけた。

(センター長 浦野 文博)

(文責 高橋 一嘉)

2. 活動報告

(1)感染症発生動向調査

①全数報告

(件)

類型	疾患名	平成29年度	平成28年度	平成27年度
二類	結核	41	46	37
三類	細菌性赤痢	1	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	5	9	3
	パラチフス	0	0	0
四類	A型肝炎	1	0	1
	つつが虫病	0	0	0
	デング熱	1	1	1
	マラリア	0	0	0
	レジオネラ症	3	2	8
五類	アメーバ赤痢	0	0	2
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	1	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2	0
	急性脳炎	3	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	1
	後天性免疫不全症候群	3	1	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	-	-
	侵襲性髄膜炎感染症	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	14	3	0
	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る）	1	-	-
	梅毒	1	1	0
	播種性クリプトコックス症	2	-	-
	破傷風	1	0	0
	風しん	0	0	0
	麻しん	1	0	2

②小児科定点報告

(件)

	疾患名	平成29年度	平成28年度	平成27年度
週報	RS ウイルス	135	115	192
	咽頭結膜熱	1	0	0
	A 群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	74	85	26
	感染性胃腸炎	830	787	770
	水痘	12	12	8
	手足口病	13	1	15
	伝染性紅斑	0	0	10
	突発性発疹	2	5	11
	百日咳	1	2	12
	ヘルパンギーナ	7	8	23
	流行性耳下腺炎	29	54	48

③基幹定点報告

(件)

	疾患名	平成29年度	平成28年度	平成27年度
週報	細菌性髄膜炎	4	6	7
	無菌性髄膜炎	1	1	2
	マイコプラズマ肺炎	5	17	28
	クラミジア肺炎	1	1	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	28	18	21
月報	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	154	137	182
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0
	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0	1

④インフルエンザ定点報告

(件)

	疾患名	平成29年度	平成28年度	平成27年度
週報	インフルエンザ	893	804	486

⑤インフルエンザによる入院患者報告

(件)

	疾患名	平成29年度	平成28年度	平成27年度
週報	インフルエンザ (入院患者)	148	116	77

⑥職員の感染曝露

(件)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
針刺し・切創 (EPI-Net A)	60	61	58
皮膚・粘膜汚染 (EPI-Net B)	11	11	5
院内結核曝露	5	1	4

⑦職員健康外来

(件)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
延べ受診者数	88	125	136